

令和4年2月18日

保護者様

我孫子市立我孫子第一小学校
校長 榊原 憲樹

学校目標 ～豊かな心で たくましく生きる子どもの育成～

合言葉 「笑顔と拍手」

12月にご協力いただきました「学校評価」についてまとめました。

今年度も昨年度に引き続き社会の感染状況を踏まえながら、子供達の成長に不可欠な学習と体験については工夫実施していくことを念頭に置いて各教育活動を展開して参りました。

いただいた評価及びご意見を紙面にしてお知らせするとともに、学校評議員会議においてもご意見を賜り次年度の学校経営に生かして参ります。

学校行事

学校行事につきましては、感染症防止策を講じながらこれまでの知見を活かし、小学校各学年の発達段階に応じて本当に必要な学習内容と経験を見極め、「全ては一小っ子のため」を全職員が意識し、実施期日や形態・内容を工夫改善し、前向きに取り組んできました。

高学年の宿泊学習は、5、6年ともに社会科や総合的な学習の時間の発展として学びを深める場となったとともに、家庭を離れ友と過ごす中で、家族と友の有り難さを感じ、一人一人が心身ともに成長の階段をひとつ上ることができました。

また、各学年の校外学習についても当初の期日と変更した学年もありましたが、全学年実施することができました。各学年ともに実行委員を中心に自分たちの決めためあての達成を目指して協力することができ、一小の代表として社会性ある立派な態度を見せてくれました。

運動会につきましては、PTAの方々の多大なるご協力のもと、低・中・高学年の3部入れ替え制で行いました。テーマ「感謝と態度 全力でいどむ 運動会」のもと、一小っ子一人一人全員が自分の持つ力を出し切る姿を保護者の皆様に見ていただくことができました。

学習指導

全ての学級が落ち着いた雰囲気の中で1年間学習を進めることができました。これも保護者の皆様の本校教育へのご理解とご支援のおかげと感謝申し上げます。

本年度は、我孫子市研究指定校研修事業研究校の初年度として、「共に学び、自ら探究する子どもの育成」～地域とつながる総合表現活動を通して～の研究をスタートしました。自分と我孫子を誇りに思う一小っ子の育成を目指し、全学年とも発達段階に応じ、学校や地域の教育資源をフル活用した単元を開発しました。生活科と総合的な学習の時間を通して、子ども達は自らが設定した課題を夢中で追究し、現在の学習指導要領が求めている「個別最適な学び・協働的な学び」を実現させていました。

また、千葉県教育委員会からは「特色ある道徳教育推進校」の指定を受け、知識理解に終わらない、「考え議論する道徳」の授業研究を進めました。各教室では、素材文の人物を自分事ととらえ「うーん！」とうなり悩み、「友情や正義」といった道徳的価値について深く考え、友人の意見から学び合う一っ子の姿が見られました。

さらに、12月に行われた学力テストでは、昨年度に引き続き全学年が全国平均を上回りました。併せて、経年変化においても、全学年の学力が毎年上がっています。授業研究が授業改善に結びつき、一っ子の姿としてその成果が現れました。

150周年を迎える来年度は、全校児童目標を明確に持ち、伝統の上に新たなスタート年として、一っ子の確かな学力と未来を切り拓く力を育てる地域単元開発を更に充実させていきたいと思ひます。

感染防止対策・安全

学校での感染拡大防止策は ① 換気 ② マスク着用 ③ 手洗い及び消毒 ④ 児童間の距離確保 ⑤ 毎日の健康観察 を柱として、取り組んで参りました。また、各教室のサーキュレーター、床掃除用の清掃器具、低学年手洗い石けん用台 等 PTAの皆様に様々ご支援いただき、誠に有り難うございました。保護者の皆様には、お子さんはじめご家族の健康管理をしっかりとっていただいたことで、学校での教育活動が守られていると実感しております。

今後も感染症防止対策については、感染状況に応じて有効な対策を、国、県、市の指針も踏まえ実施してまいりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

本校では今年度も学期はじめに教職員・生活安全委員会の委員による登校指導を行いました。また、毎日、安全管理員（3人が交代で勤務）が、正門・校地巡視・学校近くの外回り・356号の横断歩道で登下校指導・防犯活動を行っています。地域の「子ども見守り隊」の皆さんが、暑い日も寒い日も、交通安全の旗を振りながら、登下校見守りをしてくださっています。

現在行われている手賀沼公園・久寺家線（緑郵便局付近）の工事は、我孫子市道路課から随時情報をいただき、今後新道に伴う通学路の変更についても関係保護者の方々と迅速に情報共有を図って参りますのでご理解ご協力をお願ひします。

なお、通常の登下校は「徒歩」ですので、病気や怪我のため車で登下校する場合、フラワーロードは児童優先の最徐行をお願ひします。

小中一貫教育

対面での児童生徒間の交流はできませんでしたが、Teams を利用し白山中・一小・四小の生徒会児童会によるリモート交流会を3回行いました。児童会のメンバーは、6年生から中学生への質問内容を取りまとめ、四小の児童会と協力し要点を絞った的確な進行と質問ができました。6年生が興味のある中学校部活動についても白山中学校が製作した部活紹介動画を興味津々で視聴しました。今後も、白山中学校区でめざす15才の姿を共有し、一っ子達が安心してそして希望を持って進学できるよう、更に ICT 等を活用した新しい取組にチャレンジしていきたくと思ひます。